

令和 7 年度 森町小・中学校 全国学力・学習状況調査の結果の概要

令和 7 年10月 森町教育委員会

令和 7 年 4 月 17 日に小学校第 6 学年児童と中学校第 3 学年生徒を対象に実施された「令和 7 年度全国学力・学習状況調査」における森町の調査結果をお知らせいたします。

この調査は、文部科学省が、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てることなどを目的として実施しています。森町では、今後も継続して各学校における児童生徒への教育指導を一層充実させ、学力向上や学習環境の改善に取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

1 教科に関する調査の状況

小学校(3校)

① 各教科の平均正答率(%) 第 6 学年 89 名

	国 語	算 数	理 科
森 町	57	42	49
北 海 道	65	55	56.3
全 国	66.8	58.0	57.1
道 と の 差	-8	-13	-7.3
全国との差	-9.8	-16	-8.1

※森町・北海道の各教科の平均正答率は
国が公表した整数値です。

学習指導要領の内容から見た分類別正答率

国 語					
	森 町	北海道	全 国	北海道比	全国比
言葉の特徴や使い方に関する事項	63.5	74.8	76.9	-11.3	-13.4
情報の扱い方に関する事項	56.2	61.8	63.1	-5.6	-6.9
我が国の言語文化に関する事項	67.4	80.6	81.2	-13.2	-13.8
話 す こ と ・ 聞 く こ と	61.8	65.0	66.3	-3.2	-4.5
書 く こ と	57.7	68.3	69.5	-10.6	-11.8
読 む こ と	47.5	56.1	57.5	-8.6	-10

算 数					
	森 町	北海道	全 国	北海道比	全国比
数 と 計 算	46.9	58.6	62.3	-11.7	-15.4
図 形	39.0	53.9	56.2	-14.9	-17.2
測 定	34.8	50.7	54.8	-15.9	-20
変 化 と 関 係	39.0	55.4	57.5	-16.4	-18.5
デ ー タ の 活 用	51.5	60.9	62.6	-9.4	-11.1

理 科					
	森 町	北海道	全 国	北海道比	全国比
「エネルギー」を柱とする領域	38.2	44.8	46.7	－6.6	－8.5
「粒子」を柱とする領域	44.2	50.7	51.4	－6.5	－7.2
「生命」を柱とする領域	40.2	51.9	52.0	－11.7	－11.8
「地球」を柱とする領域	59.4	65.9	66.7	－6.5	－7.3

中学校(2校)

① 各教科の平均正答率(%) 第3学年 78 名

	国 語	数 学	理 科
森 町	44	35	440
北 海 道	54	47	505
全 国	54.3	48.3	503
道 と の 差	－10	－8	－65
全国との差	－10.3	－13.3	－63

※森町・北海道の各教科の平均正答率は
国が公表した整数値です。

② 学習指導要領の内容から見た分類別正答率

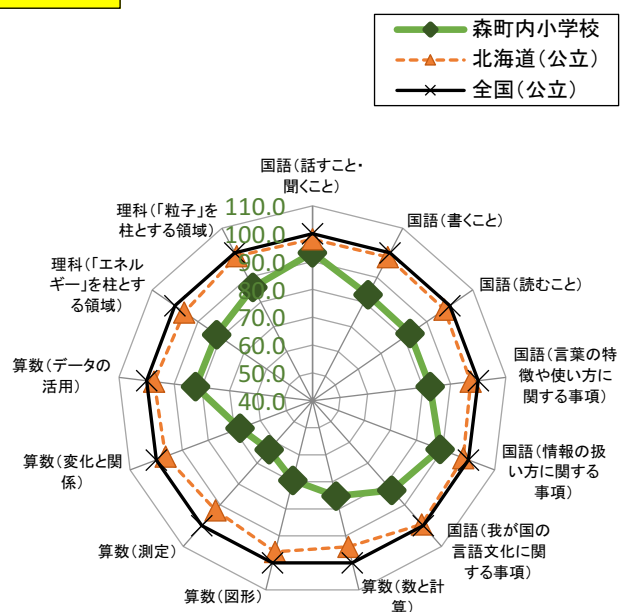
国 語					
	森 町	北海道	全 国	北海道比	全国比
言葉の特徴や使い方に関する事項	43.6	48.8	48.1	－5.2	－4.5
話 す こ と ・ 聞 く こ と	45.8	53.8	53.2	－8	－7.4
書 く こ と	39.5	51.4	52.8	－11.9	－13.3
読 む こ と	50.0	62.0	62.3	－12	－12.3

数 学					
	森 町	北海道	全 国	北海道比	全国比
数 と 式	36.4	43.4	43.5	－7	－7.1
図 形	28.8	44.9	46.5	－16.1	－17.7
関 数	38.9	46.6	48.2	－7.7	－9.3
デ ー タ の 活 用	38.0	54.8	58.6	－16.8	－20.6

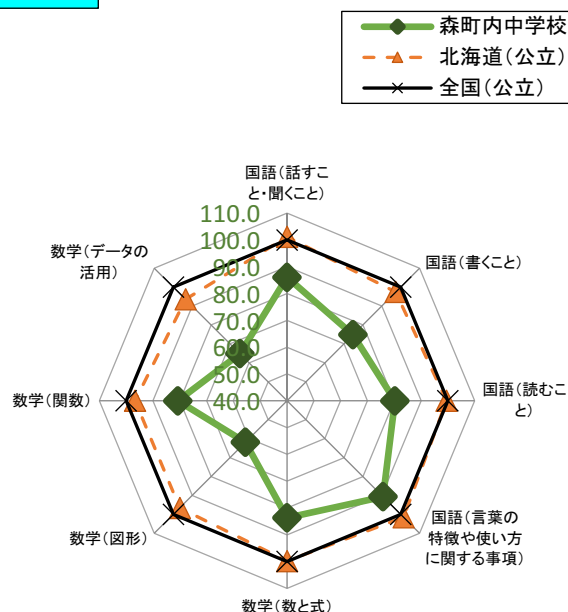
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を 100 とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100 で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRT スコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校



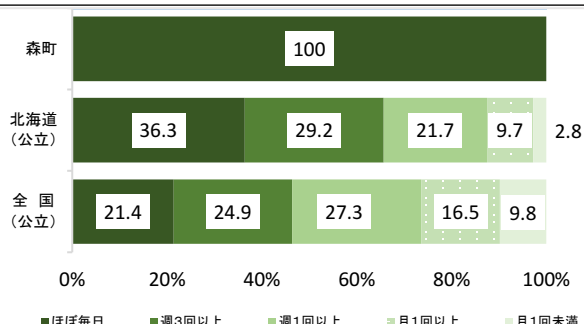
中学校



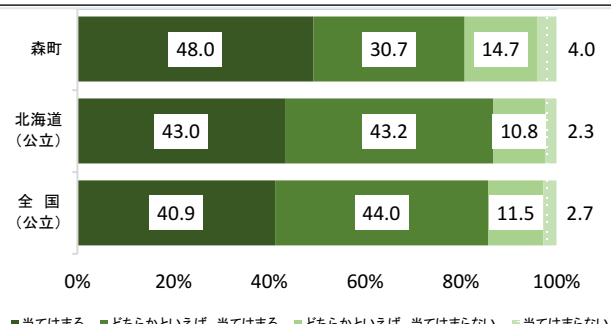
2 質問調査の状況と調査結果の分析

小学校〈学校質問〉

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用させていますか



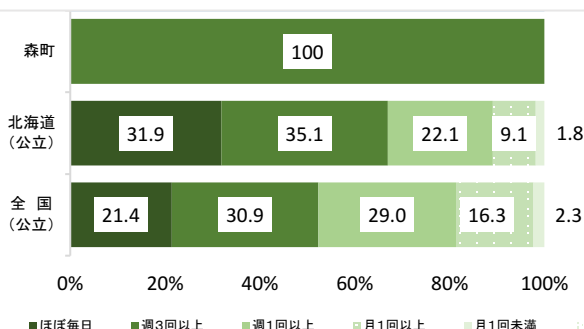
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



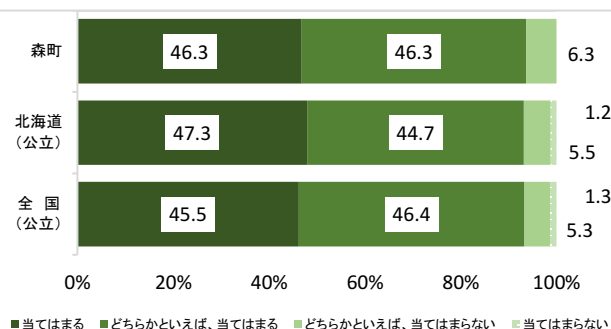
小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器をほぼ毎日使用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると回答した割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校〈学校質問〉

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用させていますか



授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

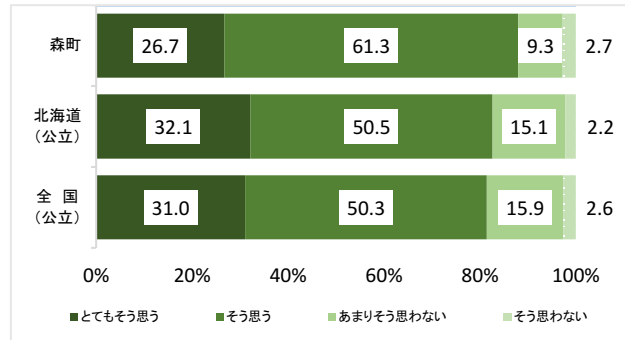


中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を日常的に活用したことにより、授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると肯定的に回答した割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

小学校〈児童質問〉

5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。

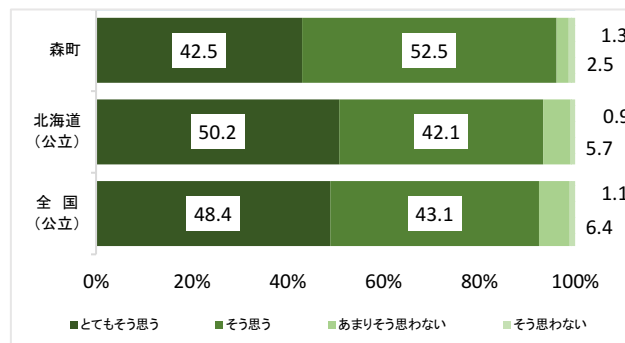
(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



町の教育施策「AI 型ドリル等を活用した個別最適な学びの推進」における ICT 機器の効果的な活用により、自分のペースで理解しながら学習を進めると肯定的に回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。さらに、情報の整理や分析に必要な思考時間を確保できる環境を整えたことが、国語の「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率が全国及び全道に近くなった要因の 1 つだと考えられる。

中学校〈生徒質問〉

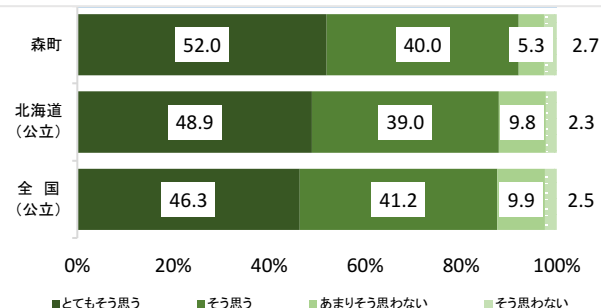
あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができますか



町の教育施策「AI 型ドリル等を活用した個別最適な学びの推進」における ICT 機器の効果的な活用により、インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

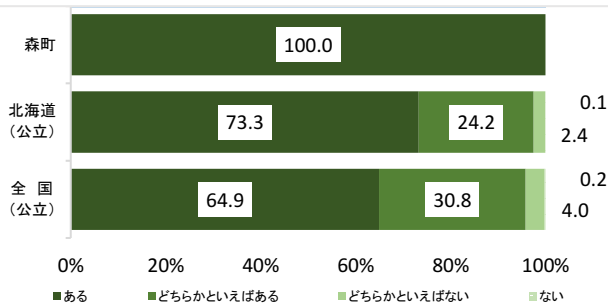
小学校〈児童質問〉

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7)友達と協力しながら学習を進めることができる



小学校〈学校質問〉

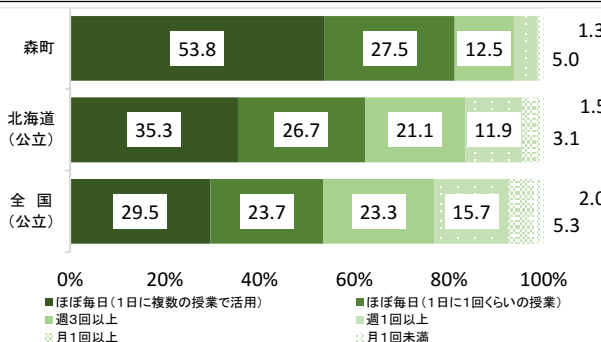
教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか



「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」において、ICT機器の使い方を学ぶために必要な研修を位置付けるとともに、推進教員が町内の学校を巡回し、ICT機器を効果的に活用した授業の好事例を共有したことにより、ICT機器を活用して、友達と協力しながら学習を進めることができると肯定的に回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

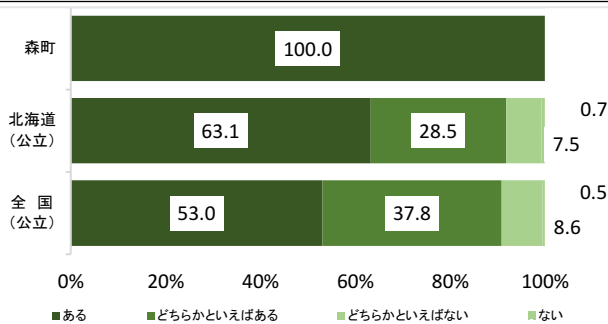
中学校〈生徒質問〉

1、2年生のときに受けた授業で、PC、タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



中学校〈学校質問〉

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか



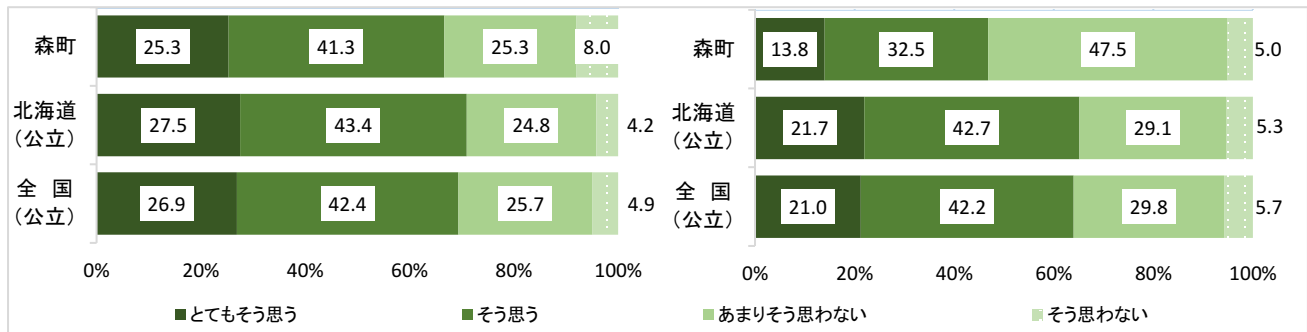
「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」において、ICT機器を効果的に活用した協働的な学びを充実させる取組を、推進教員が町内中学校に情報共有するなど、ICT機器の使い方を学ぶために必要な研修を位置付けたことにより、1、2年生のときに受けた授業で、PC、タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日複数の授業で活用したと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

児童生徒質問

あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができますか

小学校

中学校



小学校及び中学校において、算数・数学の「データ活用」の領域で、平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができますか」の質問に対し、肯定的に回答した割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

3 今後の改善方策

- ICT 機器や AI 型ドリルの活用の「質」を高める
 - ・単なる操作や知識の習得にとどまらず、データを分析し、根拠をもって説明する活動を授業に積極的に取り入れる。
 - ・AI 型ドリルや電子黒板を活用し、児童生徒が自らデータを集め、考察し、発表する機会を増やす。

【具体策】

- ① 思考力、判断力、表現力等の育成を重視
 - ・各教科等の指導において、協働的な学びの一層の充実を図るとともに、複数のデータを基に考えをまとめ、発表する力を育てる。
 - ・小中連携による教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導において、小学校の「身近なデータの整理」から、中学校の「統計的な分析・活用」への接続を意識した指導を行う。
- ② 教員の指導力向上
 - ・AI 型ドリルを学習指導に活用する方法や、教育データを分析し、授業改善に生かすための研修を充実させる。
- ③ 町全体での取組の推進
 - ・学校ごとの創意工夫を尊重しつつ、町全体で教育データを効果的に活用する。
 - ・保護者や地域と連携し、子どもたちの学びを多面的に支援する体制を整える。